

第11回 緑豊かな清流の国ぎふづくり 県民フォーラム



開催日時

令和5年

9月5日(火)

13:30~16:00

(13:00開場)

定員 300名

参加無料
(要事前申込)

※詳細は裏面をご覧ください。

会場

岐阜県庁 1階

ミナモホール

(岐阜市藪田南2-1-1)

表彰式 13:35~13:50

感謝状贈呈式

平成27年に、県と(株)パローホールディングス、サントリー(株)、サントリーフーズ(株)の4者で締結した、森林・環境保全に向けた包括協定に基づき、第13回「『未来』の森と水を育てよう」キャンペーンが実施され、「清流の国ぎふ森林・環境基金」に寄付をいただきましたので、県から3社に対し、感謝状を贈呈します。

活動発表 13:55~14:50

基金事業を活用した団体の活動について

清流の国ぎふ森林・環境基金を活用して、河川敷における竹林遊歩道の整備や里山林整備を通じた森林環境教育等を実施している団体から活動発表をしていただきます。

発表団体(予定)

- ◆木曽川左岸遊歩道友の会
- ◆NPO法人活エネルギーアカデミー

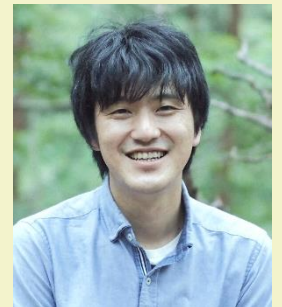


基調講演 15:00~16:00

「森をつくる暮らしをつくる」

講師:株式会社やまとわ 取締役 ^{おくだ ゆうじ} 奥田 悠史 氏

1988年三重県生まれ。信州大学農学部森林科学科出身。大学時代にバックパッカーで世界一周へ。卒業後、編集者・ライターを経て、2015年にデザイン事務所を立ち上げる。2016年、「森をつくる暮らしをつくる」を理念に株式会社やまとわの立ち上げに参画。森林とクリエイティブを掛け合わせて森の課題を楽しく解決することを目指している。



新県庁舎見学ツアー(希望制)

16:00~17:00

令和5年1月に開庁した新県庁舎内の見学ツアーを行います。参加を希望される方は、事前の申し込みをお願いいたします。(先着30名様)

第11回 緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラム

■申し込み方法

下記のいずれかの方法で8月30日(水)までに申し込みをお願いします。

- ①右記の二次元コードにアクセスのうえ、参加申込フォームに記入、送信
- ②下記の参加申込書を、FAXで岐阜県庁森林活用推進課あてに送付
- ③下記の申込項目をメールで岐阜県庁森林活用推進課あてに送付
(件名は「第11回県民フォーラム申込み」としてください。)

参加申込フォーム



○参加申込書

ふりがな			
氏名			
ご住所	〒 -		
連絡先	電話番号	メールアドレス	
備考 (2名以上の参加の場合、参加される方全員の氏名を記入願います。また、車いす利用など、座席の配慮等が必要な場合は、その旨ご記入ください。)	新県庁舎 見学ツアーの希望 (有・無いいずれかに○を記入してください)		有・無

■問い合わせ・申込連絡先

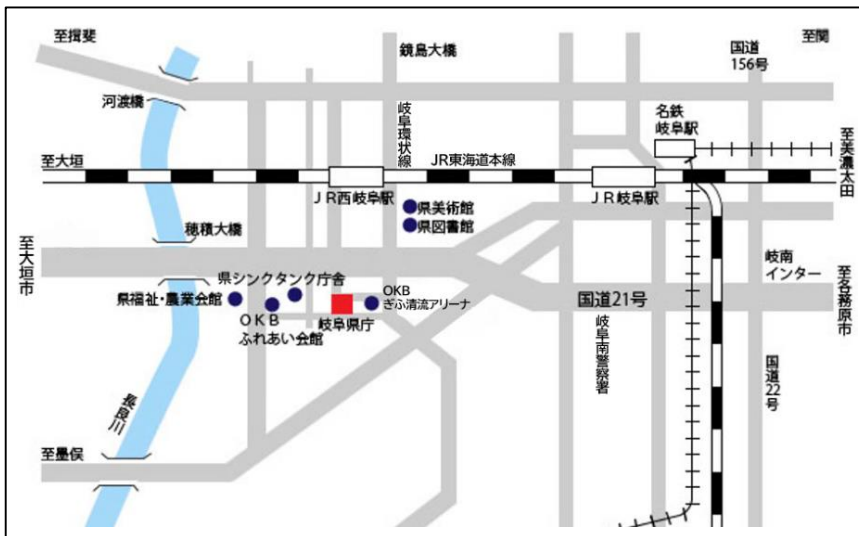
電話：058-272-8472 FAX：058-278-2702

メール：c11513@pref.gifu.lg.jp

■その他

- ・フォーラムの定員は300名(先着順)、新県庁見学ツアーの定員は30名(先着順)です。定員を超えて申し込みがあった場合、参加いただけない方には9月1日(金)までにご連絡をさせていただきます。
- ・各種警報等の発令の状況等を踏まえて、急遽中止させていただく場合があります。何卒、ご理解を賜りますようお願いいたします。
- ・お申し込みいただきました個人情報、本行事の運営管理にのみ使用し、承諾なく第三者に公開することはありません。

○アクセス方法



お越しの際はできるだけ公共交通機関をご使用ください。

- JR西岐阜駅(南口)より
 - ・市橋地区「西ぎふ・くるくるバス」『県庁』バス停下車すぐ
 - ・岐阜バス「笠松県庁線」『県庁』バス停下車すぐ
- JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より
 - ・岐阜バス「加納島線」「OKBふれあい会館」行に乗車、『県庁』バス停下車すぐ
 - ※路線バスの運行状況については、ホームページ等をご確認ください。
- お車でのお越しの場合
 - ・庁舎周辺の来庁者駐車場をご利用ください。
 - なお、駐車台数には限りがありますので、ご注意ください。

「清流の国ぎふ森林・環境税」とは？

岐阜県の恵まれた森林・川などの自然環境の保全・再生に向けた取組みを早急かつ確実に進めるための財源として、平成24年度から導入し、平成29年度からは第2期として制度を継続し、豊かな自然環境の保全・再生に向けた取組みを進めてきました。

自然環境の保全・再生には相当の期間が必要であり、新たに見えてきた課題もあることから、令和4年度以降についても引き続き制度を継続し、第3期として「森林部門」「環境部門」「共通部門」において、森・川・海のつながりを通じた施策を展開しています。